

事例 2

コミュニケーション国語

ポスターセッション「大分の先哲に学ぶ」学習指導案

大分県立大分豊府中学校第2学年 116名

提案者 大分県立大分豊府中学校 佐藤由美子

1 求める学習者像

自ら課題を設定し、解決に向けて広く情報を収集するとともに、自分の思いや考えを聞き手に的確に伝えるために方法を工夫して発表し、「自分の言葉」で語り合う中で、思いや考えを深め合おうとする学習者

2 単元名

「大分の先哲に学ぶ」

3 単元設定の理由

(1) コミュニケーション国語について

本校は、平成19年度に開校したばかりの県内唯一の併設型県立中高一貫校で、「未来を志向し、豊かな人間性、創造的な知性とたくましさをそなえた国際性に富む人間の育成」を教育目標に掲げている。その特色の一つに、実践的なコミュニケーション力や表現力・読解力を育てることをめざす、学校独自教科「コミュニケーション(C国・C英)」を開設している。これは、本来の強化とは別に、国語と英語による「聞く・話す・読む・書く」の指導を通して、基本的なコミュニケーション力の育成とともに、我が国や世界各国の伝統や文化、社会問題等の指導を通じて、国際社会に対応できる様々なコミュニケーション力の育成を図ることを目標にしている。

(2) これまでの実践と生徒の変容

本校の1期生は、明るく素直で学習活動にも意欲的に取り組み、授業でも活気ある雰囲気生まれやすい。初年度(中学1年時)のC国では、①「考えを伝える」(『塾の是非』を理由を挙げて討論する)、②「読書紹介」(聞き手に読んでみたいと思わせるスピーチをする)、③「考える読書をしよう」(『高瀬舟』を教材に「安楽死」をテーマに討論する・「裁判員制度に学ぶ」)活動を行った。この中で、「裁判員制度に学ぶ」活動では、実際に裁判官に来校していただき講演を聞いたが、そこでも「多角的に事象を考察し、他者に自分の考えを適切に表現する力の必要性」を学んだ。また、本校では、各教科や総合的な学習の時間などでも、表現活動(話し合い・スピーチ・発表会・作文・レポートなど)を多く取り入れ、学校を挙げて「言葉の力を使って、他者を理解し、自分の考えを深め、それを伝え合い(表現し)深め合う学習活動」に力を入れている。さらに、それらを支えるベースとして、感動体験、特に様々な分野の方を講師に招いての「講演会」の多さは、他に類を見ないと思われる(*竹細工職人・裁判官・国土交通省・国体事務局・EU大使館職員・医師・弁護士など)。

入学当初は、言葉の意味を正確にとらえきれないまま一方的な「表現」で終わり、伝えたい気持ちはあるけれど、「言葉の力」とスキルが身につけていないために、他者に思いや考えをうまく伝えることができず、もどかしい思いをする場面も見られた。その後、国語の授業を中心に「言葉の力」の育成に努めながら、C国語の学習活動を進めるうちに、次第に「伝え合う」ことの楽しさを実感し、少しずつ

ではあるが、そのスキルも身につけてきているところである。特に、話し合い活動では、自分の意見を積極的に述べ、友達の意見や考えにもしっかりと耳を傾けながら、考えを深め合うことを楽しんでいる。また、スピーチでは、原稿を（聞き手を意識することなく）読むことが多かったが、今では要点のみをメモにまとめ、聞き手の顔を見ながら話すことができるようになった。

(3) 今年度の取り組みについて

今年度C国では、郷土「大分」の先哲の業績とその生き方を多様な方法で調べ、それをポスターセッションで伝え合い深め合う活動に取り組んだ。中学2年生は、進路学習においても「職場体験活動」をするなど、他者と触れ合いながら、自分の将来について考え始める時期である。郷土「大分」には、志高く、夢に向かって努力した人・未知の世界に挑戦した人・広い視野で人々の幸せを願って努力した人がたくさんいる。そこで彼らの生き方・考え方を学ぶことで、これからの自分の生き方のヒントをつかむ一助となればと考えた。また、今年度国語科では、①調べた「事実」と自分の「意見」を区別して、自分の考えや思いを「自分の言葉」で伝えることと、②「人との関わり」に力を入れている。今回の学習活動においては、①はレポートとポスターセッションで、②は夏休みの調べ学習とポスターセッションで実践した。特に、夏休みの調べ学習では、現地（出身地や資料館など）に足を運び、そこでインタビューを行うこととしたが、これが最後までベースとなって生徒の学習を支えることになった。また、今回取り入れたポスターセッションでは、先哲の生き方にキャッチコピーをつける・伝えたいことを1枚のポスターにまとめ3分間で説明する・4分間のセッションを行う活動に取り組んだ。ここでは、調べ学習で得た膨大な情報を絞り込みポスターにまとめる・「自分の言葉」で語る・よい「質問」とその答えのやり取りでさらに深め合っていくことの難しさを学んだ。

今回のC国の学習では、国語科はいうまでもなく、他教科や各分掌との連携や外部講師による特別講義もあった。まず、社会科の先生には大分県の先哲を40名近くピックアップしていただき、技術科の先生にはコンピューターを使っての調べ学習及びポスター製作のアドバイスをいただいた。また、図書館司書の先生には、あらかじめ生徒が選んだ先哲を知らせておき、適切なレファレンスをしていただいた。さらに、今年は総合的な学習でも「おおいた国体」にちなみ県内の特産物や人物などを紹介する『めじろんカルタ』を作成し、郷土に対する興味・関心を持たせた。特別講義としては、夏休みの調べ学習前に「相手の気持ちを引き出すインタビューのこつ」（別大小沼教授）、ポスター製作の過程で「思いを伝えるポスターの作り方」（広告会社の方）を行った。

4 単元の目標

郷土「大分」の先哲の業績とその生き方を学びあう中で、これからの自分の生き方のヒントをつかむ。

- (1) 自ら課題を設定し、解決するために多くの情報を得ようと進んで文章を読んだり、人に話を聞いたりする。【関心・意欲・態度】
- (2) ア. 構成を考え、わかりやすく「自分の言葉」で伝えることができる。
イ. 「事実」と「考察」を分けて話したり聞いたりすることができる。
ウ. 話し手の伝えたいことを的確に聞き取り、相手の気持ちを引き出す質問をすることができる。【聞く・話す力】
- (3) 伝えたいことを焦点化し、情報を整理し選んだ情報をわかりやすくまとめることができる。【書く力】

- (4) 集めた資料から必要な情報を見つけたり、複数の情報を比較検討し自分の意見の根拠として活用したりすることができる。 **【読む力】**
- (5) 資料などで使用されている言葉の意味を正しくとらえたり、自分の思いを伝えるために言葉や表現を工夫したりすることができる。 **【言語事項】**

5 学習計画

	月日	学 習 活 動	目 標
1	7/10	オリエンテーション (目標・内容・学習計画)	学習のめあてを知る
2	7/14	調べ学習①～人物選び (インターネット・図書館利用)	課題設定
3	7/15	調べ学習②～人物選び (インターネット・図書館利用)	学習の見通しを立てる
4	7/18	「相手の気持ちを引き出すインタビューのこつ」 別府大学・小沼俊男教授の講義	夏休みの調べ学習に向けて「聴く」を学ぶ
	夏休み	調べ学習③～先哲ゆかりの地を訪ね、調査・研究活動を行いレポートにまとめる。(インタビューをする)	資料・情報を集める 情報を記録・整理しまとめる 人と関わる
5	9/12	夏休みの個人レポートを読み合う。	中間相互評価
6	9/19	夏休みの調べ学習でお世話になった方々に礼状を書く。	礼状の書き方を学ぶ
7	9/25	発表準備①「ポスターセッション」について知る。	ポスターセッションの
8	10/2	発表準備②テーマをしばらくこむ～伝えたいことは何か	方法を知る
9	10/9	発表準備③ポスターのレイアウトを考える	情報をしばらくこむ
10	10/16	発表準備④ポスター制作のための情報収集 (再調査)	再調査をする
11	10/23	発表準備⑤ポスター制作～コンピューター利用	コンピューターを使っ
12	10/30	発表準備⑥ポスター制作～コンピューター利用	てポスターを作る
13	11/10	「思いを伝えるポスターの作り方」 (広告制作会社) エデンメディアワークス 池邊寛さんの講義	伝えたいことが伝わる ポスターを作るコツを学ぶ
14	11/13	発表準備⑦ポスターセッションのための発表原稿作り	「事実」と「意見」を 区別する 「自分の言葉」で語る
15	11/20	発表準備⑧リハーサル・練習	自己評価・相互評価
16	11/27	中間発表「学級発表」及び振り返り・修正 (話し合い)	自己評価・相互評価
17	12/4	本発表「学年発表会」	伝え合い深め合う
18	12/12	まとめ これまでの学習の評価をする →新聞に「学んだこと」を意見文にまとめ投稿する	学習の成果を確認し、 学んだことを伝える

今回取り上げる「大分の先哲」

1	ペトロ岐部カスイ	ペとろきべかすい	1587~1639	宗教家
2	前野良沢	まえのりょうたく	1723~1803	蘭学者
3	麻田剛立	あさだごうりゅう	1734~1799	天文学者
4	脇蘭室	わきらんしつ	1764~1814	教育者
5	大蔵永常	おおくらながつね	1768~	農学者
6	田能村竹田	たのむらちくでん	1777~1835	画家
7	帆足万里	ほあしばんり	1778~1852	教育者
8	広瀬淡窓	ひろせたんそう	1782~1856	教育者
9	村上姑南	むらかみこなん	1818~1890	医学者
10	毛利空桑	もうりくうそう	1797~1884	教育者
11	賀来飛霞	かくひか	1816~1894	本草学者
12	大友宗麟	おおともそうりん	1530~1587	政治家
13	三浦梅園	みうらばいえん	1723~1789	哲学者
14	福沢諭吉	ふくざわゆきち	1834~1901	思想家
15	矢野龍溪	やのりゅうけい	1850~1931	言論人
16	滝廉太郎	たきれんたろう	1879~1903	音楽家
17	久留島武彦	くるとまたけひこ	1874~1960	童話作家
18	朝倉文夫	あさくらふみお	1883~1964	彫刻家
19	野上弥生子	のがみやえこ	1885~1985	小説家
20	福田平八郎	ふくだへいはちろう	1892~1974	画家
21	末綱恕一	すえつなじょいち	1898~1970	数学者
22	生野祥雲斎	しょうのしょううんさい	1904~1974	竹工芸家
23	堀悌吉	ほりていきち	1883~1959	軍人
24	高山辰雄	たかやまたつお	1912~2007	日本画家
25	松下竜一	まつしたりゅういち	1937~2004	小説家
26	城達也	じょうたつや	1931~	ナレーター
27	双葉山定次	ふたばやまさだじ	1912~1968	相撲取り
28	稲尾和久	いなおかずひさ	1937~2007	野球選手
29	池中康雄	いけなかやすお	1914~1992	
30	重光葵	しげみつあおい	1887~1957	政治家
31	小幡篤次郎	おばたとくじろう	1842~1905	実業家
32	小幡英之助	おばたえいのすけ	1850~1909	
33	荒巻淳	あらまきじゅん	1926~1971	野球選手
34	後藤樞根	ごとうならね	1908~1992	童話作家
35	立川澄登	たちかわすみと	1929~1985	声楽家
36	田原淳	たはらすなお	1873~1927	病理学者

○何人知っていますか？ どんなことをした人が知っていますか？

○今回は、この中から「スゴイ人」を調べてみましょう。

大分の先哲の生き方に学ぶ

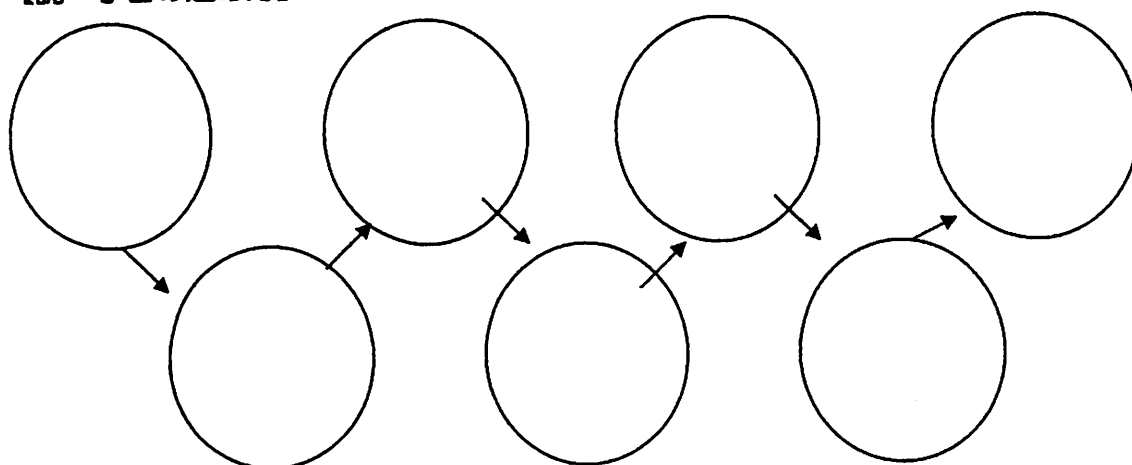
ワークシート No.1

今日から「メディアを活用した調べ学習」という新しい学習活動に取り組みます。〔調べ学習〕は、大分豊府中学校の特色の一つでもあり、これまでも、各教科や総合的な学習の時間などで取り組んできました。今回は、さらなるバージョンアップをめざしていきたいと思います。なお、今回の授業は、昨年度一部の希望者で参加した別府大学との共同研究です。みなさんの活動の様子は、DVDなどに記録されて、大分県下はもちろん全国に向けて発表されることとなります。一緒に頑張っていきましょう。

今日は、これからの学習の内容を知って目標をもち、学習の見通しを立てましょう。

【学習のねらい】

【調べ学習の進め方】



【今回の学習の特色】

キーワード		
テーマ		
調べ方		
発表方法		

大分の先哲の生き方に学ぶ

ワークシート No.2

2年()組()番 名前()

今日のめあて

それでは、今日からいよいよ「ポスターセッション」の準備に入りましょう。前の時間でも説明したとおり、「ポスター」に載せられる情報は、限られています。説明の時間にも制限があります。そこで重要になるのが、情報の選択・絞り込みです。夏休みの調べ学習・レポートを始め、これまで集めた情報がたくさんあるので、この作業はとても難しいとは思いますが、自分たちはこの人のどのような生き方に感銘を受け、何を友達に伝えたいのか、よく考え、じっくり話し合ひましょう。

私たちの選んだ大分の先哲は・・・

活動1 その人の業績を簡単にまとめてみましょう。(個人)

.....
.....
.....

活動2 その人のどんなところ(生き方・考え方)に感銘を受けたのか、友だちに一番伝えたいことをまとめてみましょう。(個人)

.....
.....
.....

活動3 活動1【業績】について、確認しましょう。(グループ)

活動4 活動2【生き方・考え方】について、話し合ったことをまとめてみよう。(グループ)

.....
.....
.....

活動5 その人を象徴する「キャッチコピー」を考えてみましょう。(個人→グループ)

.....
.....
.....

大分の先哲の生き方に学ぶ

ワークシート No.3

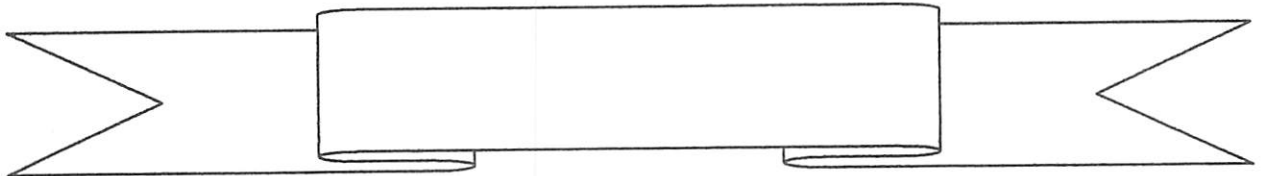
2年()組()番 名前()

今日のめあて

今日からは、「ポスターセッション」に向けて、グループごとに、発表の項目や順番などを考え、発表メモを作りましょう。原稿は書いてもかまいませんが、調べたことをそのまま読んだりするのではなく、「自分の言葉」で伝えられるようにしてください。(あくまでもメモです)

【確認事項】

私たちの選んだ大分の先哲は…



キャッチコピーは…

私たちがみんなに一番伝えたいことは…

.....

.....

.....

中心となるエピソードは…

.....

.....

.....

.....

ポスターセッションの流れ

ワークシート No.4

前半 20分

- 1 紹介 (PR) タイム [1グループ 15秒] ***原稿**
順番に、キャッチコピーなどを言い、自分たちをアピールする。
- 2 第1セッション
 - ①移動タイム [2分]
聞く側のグループは、ポスターを見ながら、自分の聞きたいグループの前に移動する。
 - ②発表タイム (教室の数カ所で同時に行う) [3分] ***原稿**
ポスターを使って発表する。
 - ③交流タイム (教室の数カ所で同時に行う) [4分] ***予想質問とその答え**
質問や意見などを出し合い、それらに対して受け答えをしながら、理解を深めていく。
- 3 第2セッション
 - ①移動タイム [2分]
第1セッションとは別のポスターのところに移動する。
 - ②発表タイム (教室の数カ所で同時に行う) [3分]
第1セッションと発表する人を替えてもよい。
 - ③交流タイム (教室の数カ所で同時に行う) [4分]

後半 20分

聞く側と発表したグループが入れ替わり、前半と同じかたちでポスターセッションを行う。

発表をする

○聞く人に働きかけながら発表しましょう。

- *メモや原稿を読みあげるのではなく、ポスターを指し示しながら話しましょう。
- *内容が伝わっているか、聞いている人の顔を確認しましょう。



発表を聞く

○質問を考えながら聞きましょう。

- *何について調べたのか、伝えたいことは何か、確かめながら聞き、どのような質問をするか考えましょう。

○こんなことを質問してみましょう。(こういう質問に対する答えも考えておこう)

- *言葉や事実について「〇〇という言葉ありましたが、どういう意味ですか？」
- *発表者が説明しつづせなかったことについて「説明がありませんでしたが、この写真は何ですか?」「この表からもっとほかにわかることはありませんか?」
- *根拠・出典・もとの資料について「どんな資料をもとにしたのですか?」「これは、どこに行けば見ることができますか?」「この本、読みたいのですが、どこにありますか?」
- *調査方法や活動自体について「どのようにして調べたのですか?」「どんな人に話を聞いたのですか?」「苦労したことはどんなことですか?」「今回の活動でよかったと思ったことはどんなことですか?」

C国

「大分の先哲に学ぶ」ポスターセッション

【目標】聞き手に自分たちの思いが伝わるようなプレゼンをして
先哲の生き方・考え方について深め合おう。

二年組番
名前

◎話す事柄や順序、時間配分を工夫して、3分間のプレゼンの構成をまねよう。

話す事柄	内容	時間
出だし	<p>○出だしと結びは、文で書いてます。</p> <p>○展開のときは、箇条書きじゃない。</p> <p>○ふりかへのときは、文で書いてない。</p>	
展開		
結び		

☆【展開】おなじみの3段階構成にする。

☆【結び】「は、今回の学習活動で、心に残ったこと」も聞き手へのメッセージを入れよう。

☆「ふりかへ」は、おなじみの「自分の言葉」で語ろう。

大分の先哲の生き方に学ぶ

ポスターセッション学級発表会

ワークシート No.5

2年()組()番 名前()

今日のめあて

さあ、いよいよ「学級発表会」です。今日は、それぞれが、「発表する」立場と、「発表を聞く」立場になります。まず、「発表する」立場の時は、「聞く人に働きかけながら、自分たちの思いが伝わるように」発表しましょう。また、「発表を聞く」立場の時は、「話す人の思いを受け止め、質問を考えながら」聞きましょう。「ポスターセッション」で大切なのは、後半の「セッション」がどれくらい盛り上がるかです。たくさん質問してもらい、それに答えることによって、深め合うことができます。今日は、特に、「いい質問をする」ことに頑張ってもらいたいと思います。発表者が、「よくぞ、そこを聞いてくれました!」「それを詳しく話したかったです。」と思うような質問をして下さい。

今日は、ある意味で、来週の「学年発表会」のリハーサルともいえます。この時間の終わりには、グループごとの振り返りの時間をとります。今日うまくいかなかったことは、それぞれ修正をして、来週の「学年発表会」に備えて下さい。それでは、さっそくスタートしましょう!

I 【前半の部】

- ①第1セッション・・・指定されたグループの発表を聞く。
- ②第2セッション・・・個人ごとに、自由を選んで聞く。

II 【後半の部】

- ①第1セッション・・・指定されたグループの発表を聞く。
- ②第2セッション・・・個人ごとに、自由を選んで聞く。

III グループごとに反省会(評価)

質問には、ひとこと
で答えてはいけ
ない。ひとつ質問
されたら、そのこ
とについて、又は
関連することを詳
しく説明するとセ
ッションが盛り上
がるよ!

《今日の「学級発表会」を振り返ろう》

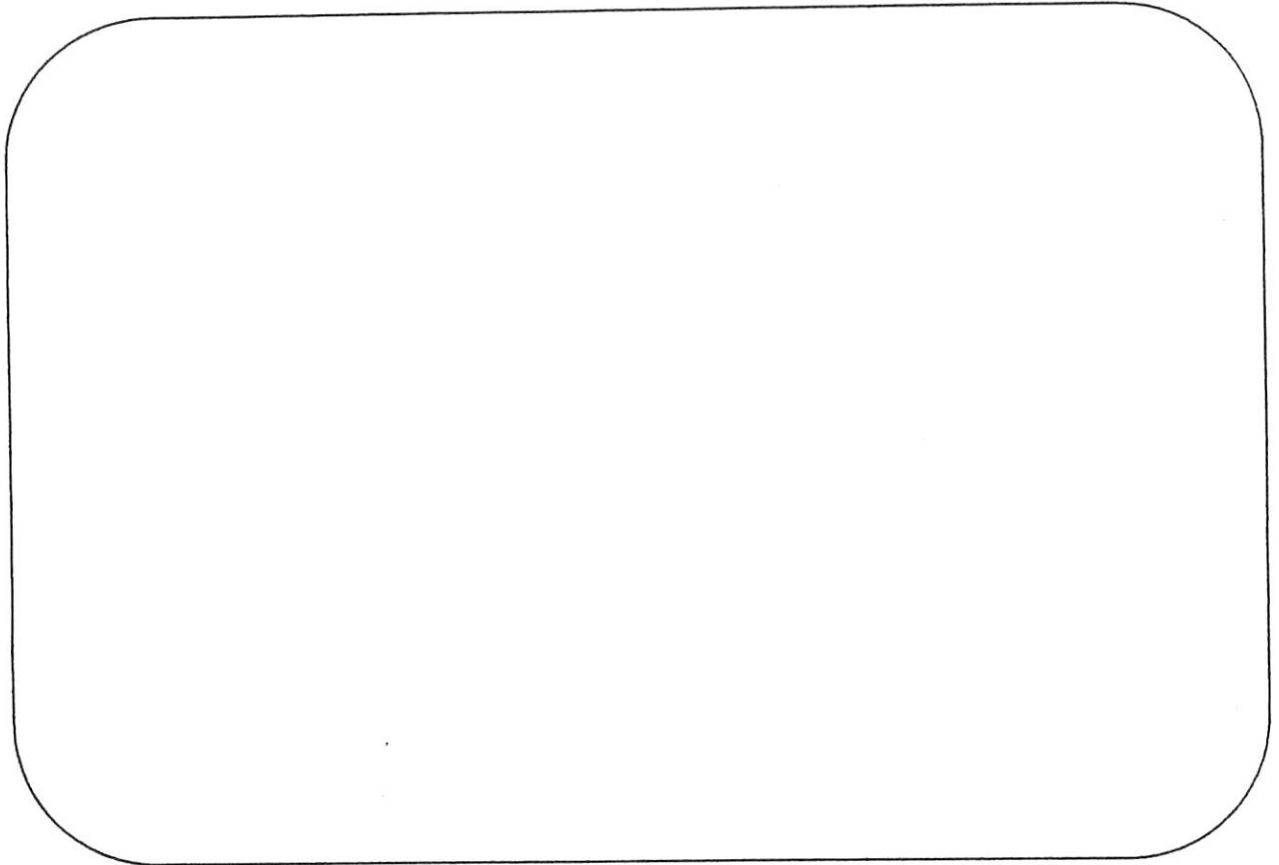
【発表する立場】

- 自分たちの伝えなかったことを伝えられたという実感があるか。
- 聞く人の顔を見ながら、内容が伝わっているか確認しながら、発表することができたか。
- ポスターを有効に活用することができたか。
- 原稿を読むのではなく、「自分の言葉」で語ることができたか。
- グループ内の役割分担やチームワークは良かったか。

【聞く立場】

- 発表する人の伝えなかったことを受け止めたという実感があるか。
- 発表する人の顔を見ながら、何が言いたいのか考えながら、聞くことができたか。
- 質問を考えながら、発表を聞くことができたか。
- 「いい質問」をして、セッションを盛り上げることができたか。

グループでの振り返り用メモ



2年（ ）組（ ）番 名前（ ）

「学級発表会」を終えて…



大分の先哲の生き方に学ぶ

ワークシート No.7

ポスターセッション学級発表会

2年 2組 () 番 名前 ()

○第1セッションは、それぞれ以下の場所で…
○第2セッションは、各自で聞きたいところに行って下さい。

**今日のキーワードは
「質問力」!**

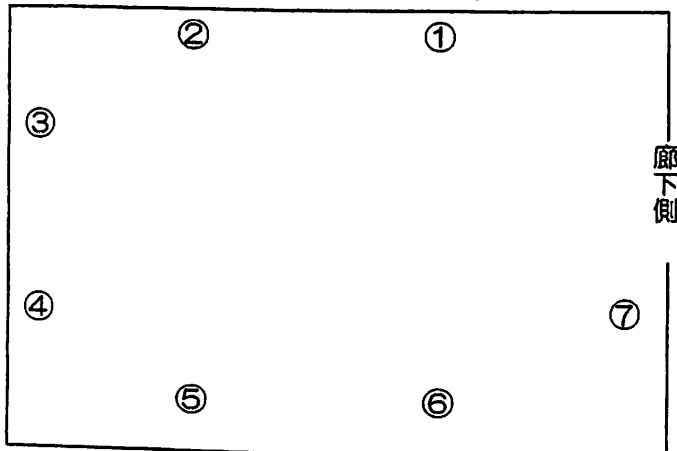
I 前半の第1セッション

場所	発表する立場		聞く立場
①	福沢諭吉	姫野	高見・穴井・平山
②	双葉山定次	池永さ・植山	古田・宮崎
③	福田平八郎	岩坂・溝辺・吉野	大津・山上
④	稲尾和久	植木・釘島・古宮	野口・中野
⑤	滝廉太郎	濱野・八木・後藤	林・斎藤
⑥	田原淳	西畑・櫻井・小倉	中村・市原
⑦	城達也	上野・上田・安部・大石	池永和・渡邊
⑧	毛利空桑	那賀・北崎	木下・岩本

II 後半の第1セッション

場所	発表する立場		聞く立場
①	久留島武彦	高見・穴井・平山	植木・釘島・古宮
②	野上弥生子	大津・山上	安部・大石・姫野
③	荒巻淳	古田	池永さ・植山
④	朝倉文夫	中村・市原・宮崎	濱野・八木・後藤
⑤	小畑篤次郎	木下・岩本	岩坂・溝辺・吉野
⑥	麻田剛立	林・斎藤	那賀・北崎
⑦	後藤権根	野口・中野	上野・上田
⑧	生野祥雲斎	池永和・渡邊	西畑・櫻井・小倉

【会場図】 上の番号の場所で発表する。



《授業の流れ》

- * 前半のグループは、10分休みの間に、ポスターを貼っておく。
- * できれば、少し早めにスタート!
- 1 先生の話 (1分)
- 2 前半 (20分)
- 3 後半準備 (2分)
 - * ポスターを貼りかえる
- 4 後半 (20分)
- 5 グループ話し合い (8分)
- 6 先生の話 (1分)
 - * 今日、グループの話し合いのため、移動を1分で…

授業が始まるまでに、
全体の流れを理解しておいてね。

大分の先哲の生き方に学ぶ

ポスターセッション学年発表会

ワークシート No.8

2年()組()番 名前()

<今日のめあて> 「セッションを楽しもう！」

- ① 聞く人に働きかけながら、自分たちの思いが伝わるように発表しよう！【話す】
- ② 話す人の思いを受け止め、質問を考えながら聞こう！【聞く】

いよいよ本番！「学年発表会」です。緊張してるかな？ 大丈夫だよ。リラックスして、いつもの通りの気持ちでいきましょう。（「今日のめあて」にもあるように、楽しんでセッションしましょう。）

さて、今日は、前時の「学級発表会」の後のグループでの話し合い→修正をうけての発表・セッションです。まず、「話す立場」としては、恥ずかしがらずに、相手の顔を見ながら【語りかける】ことをこころがけましょう。「聞く立場」としては、前回以上に後半のセッションを盛り上げるための「いい質問：」をすることです。今日も、キーワードは「質問力」ですね。今日は、何組か、同じ「先哲」を調べたグループ同士の組み合わせもあります。深いセッションが期待されますね。また、自分が知らない「先哲」の生き方から、これからの自分の生き方のヒントをもらえるかもしれません。いずれにしても、ただどんなことをした人かだけではなく、その人の生き方・考え方について、思いを深め合えることが大切です。では、さっそく始めましょう！

【今日の流れ】

I 【1部】発表～2組 聞く～1・3組

- ①第1セッション・・・指定されたグループの発表を聞く。
- ②第2セッション・・・個人ごとに、自由を選んで聞く。

II 【2部】発表～3組 聞く～1・2組

- ①第1セッション・・・指定されたグループの発表を聞く。
- ②第2セッション・・・個人ごとに、自由を選んで聞く。

<休憩>

III 【3部】発表～1組 聞く～2・3組

- ①第1セッション・・・指定されたグループの発表を聞く。
- ②第2セッション・・・個人ごとに、自由を選んで聞く。

IV 評価（自己評価→発表）

- ①発表する（話す）立場
- ②聞く立場

前回と同じく、セッションの中の「発表」と「質問タイム」の間は指示を出さないで、続けてやって下さい。

注意事項

今日は、チャイム（チーン！）を鳴らして、全ての指示を出します。

1回目～第1セッション開始 2回目～交流タイム終了1分前

3回目（2回鳴らします）～セッション終了（お礼を言い合って終わりましょう）

大分の先哲の生き方に学ぶ

ポスターセッション学年発表会

ワークシート No.9

2年()組()番 名前()

《今日の「学年発表会」を振り返ろう》

【発表する立場】

- 自分たちの伝えなかったことを伝えられたという実感があるか。
- 聞く人の顔を見ながら、内容が伝わっているか確認しながら、発表することができたか。
- ポスターを有効に活用することができたか。
- 原稿を読むのではなく、「自分の言葉」で語るすることができたか。
- グループ内の役割分担やチームワークは良かったか。

【聞く立場】

- 発表する人の伝えなかったことを受け止めたという実感があるか。
- 発表する人の顔を見ながら、何が言いたいのか考えながら、聞くことができたか。
- 質問を考えながら、発表を聞くことができたか。
- 「いい質問」をして、セッションを盛り上げることができたか。

相互評価付箋添付

大分の先哲の生き方に学ぶ～まとめ

2年()組()番 名前()

先週の「ポスターセッション学年発表会」、おつかれさまでした。ポスターの完成度の高さ、発表の際の堂々とした態度、セッションでの鋭い質問とそれに対する答えの深さなど、参観に来られた先生方からも感嘆の声を多くいただきました。昨年、さまざまな活動を通して「コミュニケーション能力」を身につけるべく頑張ってきた成果が少しずつ現れてきているかな？と感じています。とはいうものの、まだまだこれで十分！ということではありません。今回の振り返りをしっかりして、今後の活動にいかしましょう。年が明けたら、新しい活動を考えているので楽しみに！

学習の成果と課題をまとめよう

- ①「大分の先哲に学ぶ」学習活動に興味や関心をもち、その人物について知りたい、伝えたいという気持ちをもって取り組むことができた。
- ②関連する資料を様々な方法を工夫して収集することができた。(何種類の方法で資料を集めたか?)
- ③情報を集める過程で、「人」との関わりを意識して活動することができた。
- ④収集した情報をまとめる方法を工夫することができた。
- ⑤学習の成果を発表する方法を学ぶことができた。
- ⑥学習を進める上で、友だちと意見を交わし合い、意見をとり入れたり参考にしたりできた。
- ⑦自分のものの見方や考え方を広げることができた。
- ⑧自主的に活動に取り組み、楽しく活動することができた。
- ⑨グループで協力して学習に取り組むことができた。
- ⑩「話す」「聞く」活動に積極的に取り組むことができた。

- | | |
|--------------|------------|
| A とてもそう思う | B そう思う |
| C あまりそうは思わない | D 全くそう思わない |

A B C D

A B C D

A B C D

A B C D

A B C D

A B C D

A B C D

A B C D

A B C D

A B C D

◎今回の「大分の先哲に学ぶ」の学習を終えての感想を書いてみましょう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....